

■キャンドル作り、今年も盛況でした！

5月25日(土)、「でんきを消して、スローな夜を」をスローガンに、地球環境や地域資源について考えるきっかけとしてもらうことを目的として、「第11回竹宵まつり」が開催されました。

それに合わせ、豊かな環境づくり飯伊地域会議では「親子環境体験学習会2019」と題して、廃食用油キャンドル作りと、環境保全に関する展示・クイズを実施しました。

キャンドル作りには多くの親子が参加してくれました。子供たちは自分好みのキャンドルを作ろうと作業に熱中している様子でしたが、講師の湯澤眞理子さん(NPO法人「環境わくわく体験スクール」)による地球温暖化問題に関する紙芝居には、手を止めて耳を傾けていました。



【点灯したキャンドル】

暗くなった後はキャンドルを点灯。ごみになってしまう廃食用油が美しいキャンドルに生まれ変わるといふことに、通行人の方々も驚いていました。

クイズでは、全問正解者にアルクマのエコバックをプレゼント！参加者の皆さんは展示を見ながら真剣に答えを考えていました。ごみ減量、外来生物問題、海洋プラごみ問題といった、環境保全に関する様々なトピックについて、理解を深めていただけたようです。

キャンドル作りやクイズを通じて、多くの人に環境保全への関心を高めてもらうきっかけを提供できたのではないかと思います。

■環境関係推進員の委嘱状況について

今年度は、不法投棄監視連絡員15名(任期1年)、地球温暖化防止活動推進員8名(任期2年)を委嘱しました。



【不法投棄監視連絡員の委嘱式】

不法投棄監視連絡員の皆さんには、毎月8時間を目安に、担当地域をパトロールしていただいています。ペットボトルのポイ捨てや粗大ごみの放置などの事案が報告されており、なかなか不法投棄が無くならないのが実状のようです。

地域の生活環境を美しく保つため、監視員でない皆様も、万が一不法投棄等を見かけましたら、市町村役場や南信州地域振興局環境課まで連絡をお願いいたします。

地球温暖化防止活動推進員は、継続7名、新規1名の合計8名が、地球温暖化問題に関する地域住民の意識高揚などを目指して活動してくださっています。6月18日(火)に行われた委嘱式では、推進員の活動をより実りあるものにするための意見交換も行われ、教育活動の工夫の必要性や若い世代の担い手確保を訴える声が聞かれました。

気候変動の影響が顕在化している今、省エネや温暖化対策について一人一人が関心を高め、行動することが重要になっていると思います。

また、9月に自然保護レンジャーへの新規申込がありました。自然保護レンジャーには、自然公園の訪問者に対するマナー啓発等を行っていただいています。申込は随時受け付けていますので、興味のある方はぜひご応募ください。

各環境関係推進員の中で、他の推進員の方とも話がしてみたいなどのご要望がありましたら、南信州地域振興局環境課までご連絡ください。

■「どうする!?プラスチックごみ」

タウンミーティングを開催しました

9月26日(木)、南信州地域振興局の講堂において、プラスチックごみ問題について考えるタウンミーティング「どうする!?プラスチックごみ」を開催しました。

市町村職員や消費者団体、高校生等12名の皆様が地域振興局長とテーブルを囲み、現状や今後の対策について意見を交換。リサイクル事業を営む方からは「ペットボトルは大切な資源。お金になる。プラスチックを「ごみ」ではなく「資源」として認識できるような仕組みづくりができるのではないのか。」というお話がありました。不法投棄が無くならないことに頭を悩ませている方も多く、ごみではなく「資源」との認識を浸透させることで不法投棄の減少に繋がるのではないかと期待を寄せていました。その他、プラスチック製品の使用を減らす大切さについても発言がありました。

様々な立場から活発に意見が出され、有意義な時間になったと思います。一般席の方約30名も含め、多くの方とプラスチックごみ削減に向けた取組の考えを共有する貴重な機会となりました。



【展示したユニフォームとストロー】

また、会場にはプラスチック代替素材製品やリサイクル製品、インタラクティブ地球儀「スフィア」を展示。皆さん、展示品を手に取り、興味深そうに見ていらっしゃいました。特に、ペットボ

トルリサイクルによるユニフォームの出来映えに驚く方が多かったように思います。

プラスチック代替素材のストローは実際に使っていたのですが、使い心地が良いと感じるかどうかはやはり個人差があるようです。また、「高額なのが残念」という声もありました。プラスチック代替素材製品を実生活に取り入れてもらうためには、価格を下げる工夫が必要になりそうです。

■お知らせ

自然保護活動等功労者知事表彰が行われました

この表彰は、長野県の自然環境や生物多様性の保全に多大な貢献のあった方々に対して行われるものです。今年度は、全県で12名が受賞者に選ばれましたが、当地域では希少野生動物植物保護監視員として活動されている方が1名、功労者として表彰されました。

投稿をお待ちしています

元来、環境関係推進員の皆様からの投稿をもとに編集委員会にて編集し、年4回を目標に発行していた本紙ですが、投稿の減少に伴い、行政からのお知らせが中心となり、発行回数も年2回程度となっています。

より読み応えがあり、お互いの活動の参考となる紙面をお届けできるよう、現場の生の声を掲載できればと考えております。

ぜひ、本紙を環境関係推進員の皆様の情報共有の場としてご活用いただき、活発なご投稿をお願いします。

投稿していただく際の字数は概ね800字程度まで、可能な限り写真（公開しても法的に問題のないもの）を添付してください。記事は郵送、FAXのほか、電子メールでも受け付けています。皆様からの投稿をお待ちしております！

■編集担当者から

今年度から編集担当者が変わりました。南信州の環境保全に携わる方々をつなぐ紙面として、より良いものにしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。